

市役所新庁舎整備に向けた取組について

市役所新庁舎については、国の財政支援メニューである市町村役場機能緊急保全事業を適用するため、今年度中の基本設計策定に向けた取組を進めているところです。

つきましては、基本設計（素案）修正版に関して実施した市民参画手続の状況、基本設計（案）の内容、今後の取組予定について報告します。

1 市民参画手続について

基本設計（素案）修正版について、昨年12月の総務常任委員会で報告を行った後、以下のとおり、パブリックコメント及び市民説明会による市民参画手続を行いました。

(1) 意見公募手続(パブリックコメント)の実施

2022年12月16日(金)から2023年1月20日(金)までの間、基本設計（素案）修正版についてパブリックコメントを実施しました。

20名から125件の意見が寄せられました。

(2) 意見交換会手続（市民説明会）の実施

市内各地区及びオンラインにおいて、以下のとおり市民説明会を開催しました。

地区	日時	場所	参加者数
明石	1月11日(水) 19:00～	市役所本庁舎 806会議室	8名
魚住	1月14日(土) 10:00～	魚住市民センター 大会議室	4名
大久保	1月14日(土) 14:30～	大久保市民センター 大会議室	9名
西明石	1月15日(日) 10:00～	サンライフ明石 研修室	9名
二見	1月15日(日) 14:30～	二見市民センター 大会議室	1名
WEB	1月17日(火) 19:00～	オンライン(ZOOM)	14名
計			45名

(3) 主な意見

パブリックコメント及び市民説明会において寄せられた主な意見及び意見に対する市の考え方は次のとおりです。

主な意見	意見に対する市の考え方
<p>① 設計コンセプト・設計方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎は、あかしSDGs推進計画（明石市第6次長期総合計画）の計画期間中に整備されることから、SDGsの17の目標や計画内容を踏まえた明石市らしさを表現してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎の基本理念「すべての人にやさしいスリムでスマートな庁舎」は、あかしSDGs推進計画が定める目指すまちの姿「SDGs未来安心都市・明石～いつまでもすべての人にやさしいまちをみんな～」と方向性が一致しています。新庁舎が目指すまちの姿の実現に向けた拠点となるよう、SDGsの目標や計画内容を踏まえる点を基本設計（案）に追記し、整備に取り組んでまいります。
<p>② 配置計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来庁者駐車場について、一部を立体駐車場で整備し、空間を有効活用してはどうか。 ・新庁舎の敷地内には、しっかりと緑地を確保してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場については、兵庫県と連携を図りながら、隣接する明石港東外港地区との一体的な土地利用を検討していることから、暫定的に平面駐車場で計画しています。 ・新庁舎敷地内の緑地については、県条例の基準を踏まえながら、計画してまいります。
<p>③ 平面計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来庁者用駐車場の位置と明石駅からの徒歩動線を踏まえ、エントランスの位置を西側に寄せる（西側メインとする）方が良い。 ・デジタル機器の活用等により、窓口サービスを向上させてほしい。新庁舎ではワンストップサービスや総合窓口の実現を目指すべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・明石駅からの歩行者動線や明石港東外港との一体的な土地利用（駐車場位置の変更）を見据え、建物西側がメインエントランスとなるよう、平面（配置）計画を変更します。 ・新庁舎では、オンライン申請の拡充等による市役所（本庁舎）に「来なくてよい窓口」や来庁者が「移動しなくてよい窓口」、申請書類等を「書かなくてよい窓口」の実現について、引き続き検討してまいります。
<p>④ ユニバーサルデザイン計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎内外の主要な動線に、誘導（点字）ブロックを敷設してほしい。 ・エレベーターについて、聴覚障害者や視覚障害者に配慮した機能を付与してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザイン計画の検討に当たっては、あすく（明石市障害当事者等団体連絡協議会）や障害を有する職員と意見交換や他市新庁舎への合同視察を行ってきたところであり、今後も同様の取組を行いながら、導入する設備・機能等について検討してまいります。

主な意見	意見に対する市の考え方
<p>⑤ 防災・構造計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 建設場所の地盤調査の結果を示してほしい。 災害対応のため、公用車駐車場の地盤を更に嵩上げした方が良いのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度に実施したボーリング（地盤）調査結果を基本設計（案）に追記します。 公用車駐車場については、事前に発生が予想できない津波による浸水被害に対応するため、地盤レベルをTP+3.5mで設定しています。高潮等により、地盤レベルを上回る浸水被害が予想される場合は、事前に他の施設に公用車を移動させる計画です。
<p>⑥ 環境・設備計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 太陽光パネルの増設や他の自然エネルギー（水力発電・風力発電）の活用について、検討してはどうか。 ZEB Readyではなく、さらに上のランクを目指すべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> 新庁舎は、省エネルギー技術（高効率空調の導入等）を中心に環境負荷の軽減に取り組み、ZEB Readyの認証取得を目指しています。他市の同規模新庁舎でもZEB Readyを超えるランクの取得例はなく、費用面（投資回収期間）を考慮すると実現は難しいものの、来庁者駐車場1の屋根部分に太陽光発電設備を追加で設置し、自然エネルギーを更に活用する計画に修正します。
<p>⑦ 工事工程・工事費概算</p> <ul style="list-style-type: none"> 工事期間中の来庁者用駐車場はどうするのか。仮設駐車場についての説明が必要だと考える。 社会情勢が不透明な状況が続いていることから、適宜工事費の試算を行い、整備計画に反映させてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 工事期間中の来庁者駐車場については、庁舎周辺で確保できるよう、関係機関との協議・調整を行っているところです。 今回の基本設計（素案）修正版では、現在の物価上昇を踏まえ、工事費の概算を示しています。来年度の実施設計においても、物価上昇等の影響を引き続き確認しながら、詳細な工事費の積算を行ってまいります。
<p>⑧ その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民説明会の参加者が少ないので、広報の仕方に工夫が必要ではないか。 新庁舎整備に向け、審議会を設置して議論すべきである。 障害者団体（当事者）と継続的に協議し、協議結果を設計に生かしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 来年度の実施設計段階でも市民参画手続きを行う予定であり、他市の事例も踏まえながら、障害者団体（当事者）との意見交換など、取組内容について検討してまいります。

2 基本設計（案）について

昨年12月の総務常任委員会以降の検討内容及び市民参画手続の結果を踏まえ、基本設計（素案）修正版を更新し、別紙のとおり基本設計（案）を作成しました。

基本設計（案）について、基本設計（素案）修正版からの主な変更点は、以下のとおりです。

(1) 主な変更点

① 配置計画、平面計画

- ・庁舎西側にメインエントランスを配置し、動線計画や車寄せ、タクシー乗り場の位置等を変更
- ・各フロアレイアウトについて、基本設計（素案）修正版から東西に反転
- ・6階展望テラスについて、設置場所を南東・北東から南東・南西に変更

② ユニバーサルデザイン計画

- ・基本方針及び施設計画における配慮に以下の内容を追記
【基本方針】「障害者団体（当事者）と継続的に意見交換を行いながら新庁舎の整備を行う」
【施設計画における配慮】「視覚障害者の安全な移動の確保に向けた検討を行う」

③ 環境・設備計画

- ・来庁者駐車場1エリアの屋根部分への太陽光発電設備の設置

(2) 基本設計（案）の内容

- ・別紙1「明石市役所新庁舎建設基本設計（案）」のとおり
※参考資料：別紙2「配置図・平面図（各フロアレイアウト）比較表」

3 今後の取組予定について

今後につきましては、今年度中に基本設計を公表し、来年度は実施設計策定に向けた取組を進めてまいります。

2024年度（令和6年度）以降は、施工者選定・建設工事などの取組を進め、2027年度（令和9年度）の供用開始を目指してまいります。